

第49回沖縄県高等学校野球部対抗競技大会要項

1. 名 称 第49回沖縄県高等学校野球部対抗競技大会
2. 目 的 シーズンオフにおける基礎体力の増強を図り、併せて野球の技術向上に資することを目的とする。
3. 主 催 沖縄県高等学校野球連盟
4. 主 管 沖縄県高等学校野球連盟技術部
5. 期 日 2021年1月9日(土)～1月17日(日)の間で実施
6. 時 間 各地区で開始時間を決定する。日時を分けて実施してもよい。
7. 会 場 各地区で会場を決定する。会場と日時を分けて実施してもよい。

※今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各地区で分散して実施する。地区評議員を中心に、各地区単位で運営実施、後日結果を報告する。宮古、八重山は例年通り、各地区で実施。地区評議員にて運営実施、後日結果報告。

8. 種 目 ①100m ②1500m ③1800mR ④立ち三段跳び ⑤遠投
⑥塁間継投 ⑦塁間走 ⑧打撃
9. 競技内容
- ①100m 1チーム9人、1人1回の試技(シューズ履き、スパイク不可)とし、その平均で競う。
- ②1500m 1チーム9人、1人1回の試技とし、その平均で競う。
- ③1800mR 1チーム9人で1人200mの9人による継走を行う。今年度は決勝は実施せず、順位はタイム順とする。
- ④立ち三段跳び 1チーム9人による1人3回の試技、3回の試技中最長距離をとり、9人の平均で競う。
- ⑤遠 投 1チーム9人、1人2回の試技で最長距離をとり9人の平均で競う。試技幅15mとし、これよりはずれると記録なしとなる。
(練習は無く試技のみとする)
- ⑥塁間継投 1チーム4人による2回の試技を行い、最短時間を競う。各塁の選手はあらかじめ予備ボール2個保持し、失投の時は予備ボールを、失投した選手の方から送球し継投する。4人中1人でも予備ボールがなくなり継投が継続できなくなった場合は、その回の試技は失格となる。また、送球の際、触塁しない場合は1回につき0.5秒加える。
- *継投順序 ○1.本塁→ 2.一塁→ 3.二塁→ 4.三塁→
5.本塁→ 6.三塁→ 7.二塁→ 8.一塁→
9.本塁→10.二塁→11.三塁→12.一塁→
13.本塁→14.二塁→15.一塁→16.三塁→
17.本塁→18.二塁→19.本塁→20.三塁→21.一塁→
22.本塁→23.二塁→24.本塁→25.一塁→26.三塁→
27.本塁
- ⑦塁間走 9人で1回試技。順序は本塁→1塁→2塁→3塁→本塁と一周。塁の空過は1回につき0.5秒加える。

⑧打 撃 9人による1人3打とし、最長距離をとる。試技はスタンディングテ
ィーによるバッティングとし出場選手は各チームのヘルメットを着
用し、バットは高野連公認のバットとする。打撃の際は、助走を禁止
する。50m以下は記録なしとする。

10. 申込方法 高野連ホームページより、全種目の記録用紙（エントリー名簿）、各種目別記入用紙（8
種目）をダウンロードし、入力方法に従い、選手名を記入し、メールにて、**Excel データ**
で2日前の1月7日（木）17:00 までに各地区評議員へ提出する。当日は、各種目別記録
用紙を印刷して再度各地区評議員へ提出すること（エントリー名簿は訂正がある場合のみ
提出）。選手の変更は当日の競技開始前まで認めるが、エントリー名簿、各種目別記録用
紙の訂正部分を朱書きにて確実に訂正すること。訂正は、用紙のみでよい。データの訂正
は不要。

11. 表 彰 各種目とも団体3位、個人3位まで表彰する。団体、個人とも3位まで賞状を授与する。
各種目とも個人1位には楯を授与する。（県春季大会抽選会場にて表彰を予定）

12. 服 装 選手は公式戦のユニフォームを基本とする。やむを得ない場合は学校名の入った統一ユニ
フォームも認める。（学校名がはっきり分かること）

13. 用 具 ボール、バット、ヘルメット等必要なものは各チームで準備する。但し、大会に必要なボ
ール（遠投、壘間継投用）、用具は本部で準備する。

14. そ の 他 ①各地区は評議員を中心に競技を運営し、その記録（タイム系は100分の1秒まで、距
離系はcmまで記録）を送付する。

②生徒の弁当は各チームで準備して下さい。弁当業者の配置は予定していません。

③各チームの部長、監督は大会運営にストップウォッチを使用しますので持参して下さい。

④各チームのマネージャーは当日補助員（記録係）として協力させて下さい。（筆記用具
持参）

⑤競技大会【100m】でのスタートですが、「クラウチングスタイル」で統一します。
スタンディングスタートだと静止状態がわかりにくいいため、フライングが多く、競技進行
に支障をきたしてしまいました。大会本部でスターティングブロックは設置しませんが、次走
者による足の支え（スターティングブロックと同じ）は認めます。学校別に関係なく、お
互いで協力するよう部員に伝えて下さい。

⑥競技大会【打撃】での打者の配置ですが、会場に合わせて配置を工夫し、打球が観客側
に飛び込むことがないように配慮して下さい。フェールラインを設けますが、事故などが起
きないように事前に監督・部長から選手への指導をお願いします。

⑦各地区評議員は競技終了後、当日記入した記録用紙から事前にメールで提出のあったデ
ータに各記録を入力してください。その後、入力済みのデータの送信を技術部までお願い
します。（技術部部長・川上琢也あて Email : kawakata@open.ed.jp）